

令和元年度第4回定例理事会議事録

日時：令和元年10月26日（土） 14：30～16：47

場所：奈良県理学療法士協会 事務所

議長：増田崇

出席者：理事8名（定足数5名） 監事2名 書記1名

【理事】増田崇、西田宗幹、田平一行、松村明子、北村哲郎、堀義範、河村隆史、
廣池裕美

【監事】門脇明仁、江村修二

【書記】四方絵里華

議事録署名人：増田崇、門脇明仁、江村修二

欠席理事：和田善行、中村貴信

欠席監事：なし

- 議事： 1. 会長行動報告
2. 会員異動承認
3. 組織運営協議会（士会長会議報告）
4. 各局・部・委員会報告
5. その他

承認事項

1. 会長行動および業務執行理事行動
2. 会員異動
3. 整形外科領域の広告料について
4. 物理療法部門研修会の事業追加について
5. 会長のパソコン購入について
6. 事務員の時給増額について

1. 会長行動報告（増田会長）

- | | |
|---------|-----------------------------|
| 9 / 15 | 田野瀬太道氏 政治資金パーティー参加 |
| ／ 29 | 理学療法フェスタ |
| 10 / 15 | 調整会議 |
| ／ 18～20 | 半田協会長叙勲祝賀会・日理協理事会傍聴・組織運営協議会 |
| ／ 26 | 第4回定例理事会 |

承認 以上の会長行動について増田会長より報告がなされ、理事全員に承認された。

承認 業務執行理事行動報告（西田副会長、田平副会長）

業務執行理事から業務の報告がなされ、理事全員に承認された。

2. 会員異動承認

承認 令和元年7月28日から令和元年10月26日までの会員異動が、理事全員に承認された。

3. 組織運営協議会（士会長会議報告）

報告 半田協会長叙勲祝賀会、日理協理事会傍聴、組織運営協議会について増田会長より以下の報告がなされた。

<半田協会長叙勲祝賀会>

- ・盛況に行われていた。

<日理協理事会傍聴>

- ・田中まさし氏が落選になった影響が見られる。
- ・半田協会長が中医協の委員になられた。
- ・小川かつみ氏の近況報告がなされた。
- ・タスクシフティングの現状の方向性の報告があった。
- ・回復期の医療費が2兆円超えている。
- ・リンパ浮腫についてはフォローアップ研修が必要との議論になっている。
- ・経産省より産業としての理学療法の可能性について打診があった。
- ・令和二年度診療報酬改定の要望項目について、報告がなされた。

<理事会報告>

- ・常勤専従役員の増員、実習の基本技術の水準、台風災害による年会費免除等についての審議や四半期職務執行状況、代議員選挙、全国研修会、事務局などについての報告がなされた。

<組織運営協議会>

- ・55周年記念事業、全国統一イベントについては今後も検討予定。
- ・認定、専門理学療法士制度概観についての報告があった。医療法等改正法にて変更されたため医療広告ガイドラインは目指さない方向になっている。全体イメージとして認定と専門の並立性であり、ポイント制と専門試験で取得可能となる。しかし更新要件が厳しく、内容に関しては検討中である。パブリ

ックコメントを募集するとのことで、意見があればそちらに提出する。

- ・日理協の組織体制の再構築についての報告がなされた。常勤専従役員と専門家の育成と配置の説明や学会の別組織化、都道府県各会の支部化といった提案があったとのこと。課題として、日理協事業と当会事業との線引きや予算立てが困難である。次回の総会へ提出予定とのことで、あまり時間がない。内容も不透明であるため、説明が必要であれば要請する。
- ・シルバーリハビリ体操の指導者養成事業についての概要報告や課題、今後についての報告がなされた。シルバーリハビリ体操を全国展開していく方向性であるとのこと。奈良県ではいきいき百歳体操が普及している。
- ・臨床実習指導者講習会については、中央講習会を今後多数回開催する予定であると報告がなされた。
- ・学校保健・特別支援教育ネットワーク構築に係る担当者について、畿央大学福本先生で推薦している。

4. 各局・部・委員会報告

1) 災害対策委員会（西田副会長）

報告 当会・近畿ブロックの災害支援マニュアルについて報告がなされた。近畿ブロックのマニュアルは、災害支援派遣時にブロック内で動きを同一にしたほうがわかりやすいため、基本項目を統一化している。また、必要物品も統一化を図っていく予定である。基本は会員の安否確認、災害支援・派遣の協力である。次年度予算で必要物品を購入予定である。当会のマニュアルでは奈良県内での動きを詳細に記載している。赤字記載されている部分は他部局との連携が必要な部分であり、今後検討予定である。各自一読し、意見などがあれば西田副会長まで。修正し、次回理事会で承認予定。J R A Tについては年度内に県内に立ち上げる予定である。

2) 臨床実習指導者講習委員会（北村理事）

報告 臨床実習指導者講習委員会の運営を開始したと北村理事より報告がなされた。奈良県では3回講習会を開催予定である。2月8・9日、15・16日、3月7・8日で各80名×3回で240名受講可能で、11月から申し込み開始となる。講師料や会場費などはなし。奈良県内養成校の実習地先は県外にもあるので、他府県会員の参加もあり得る。リハビリテーション学校協会から各都道府県に2万5000円の支援金支払いの提案があるとのことだが、青丹学園が統括している。委員会の位置づけは各都道府県によって様々だが、当会の場合は当会に委員会を設置し養成校が実施するための支援をするという方向性であ

る。

3) 事務局（廣池理事）

報告 整形外科領域の広告料について廣池理事より報告がなされた。会計の勘定科目には負担金・広告料しかない。整形外科勉強会HPへのバナー掲載や、研修会での当会案内チラシなどを挟んでもらう。それによって公益事業より公益会計にて広告料として計上ができる。今後は、広告基準を明確にする必要がある。研修会は3月15日に開催される予定である。

承認 整形外科領域の広告料について、理事全員に承認された。

4) 事務局（増田会長）

報告 事務局関連について、増田会長より以下の報告がなされた。

- ・総務省統計局より経済サンセス基礎調査アンケートについての依頼があり、事務局中心に回答していく。
- ・杉浦地域医療振興賞の推薦については今後検討する。
- ・奈良マラソン10周年レセプションが12月6日金曜日18時30分より、奈良ロイヤルホテルにて開催される。増田会長が参加予定である。
- ・奈良県医師会創立記念式典、医学総会の開催の案内があり、増田会長が参加予定である。
- ・補装具支給制度に関する調査の依頼があり、社会福祉部が対応予定である。

5) 選挙管理委員会（増田会長）

報告 代議員選挙について増田会長より報告がなされた。来年度も定数5名、補欠2名となる。1月頃より立候補受付開始予定。現在は増田会長・西田副会長・田平副会長・和田理事・松村理事、補欠は北村理事。候補者は次回理事会で検討する。

6) 専門領域委員会（増田会長）

報告 日理協から専門領域の物理療法部門研修会の依頼について増田会長より報告がなされた。中村生涯学習部長と相談し、事業委託を受諾する方向。生涯学習部で講習会として開催するのであれば事業追加と予算執行が必要である。日理協からは6万円の補助金がある。

承認 物理療法部門研修会の事業追加について、理事全員に承認された。

報告 奈良整形外科リハビリテーション勉強会チャリティ講演会の後援依頼があったと増田会長より報告がなされ、受諾する予定。参加費は日本赤十字社へ寄付する。

7) 事務局（廣池理事）

承認 会長のパソコン購入について廣池理事より報告がなされ、理事全員に承認された。経年劣化により買い替えを検討している。備品として購入し、予算は10万円以上。

5. その他

1) ホテルキャンセル料について（増田会長）

報告 和田事務局長が出席予定であった日理協の祝賀会、理事会傍聴、組織運営委員会が諸事情により欠席となったことが増田会長より報告がなされた。キャンセル料については当会が負担することとする。

2) グループウェアの導入について（増田会長）

報告 グループウェアの導入について増田会長より報告がなされた。現在使用しているフリーメールが12月で終了するため、グループウェアを導入する。フリーメール終了までには移行予定。グループウェアは「J-MOTTO」を導入予定。20ユーザーのライセンスまでは基本料金に含まれているが、理事・監事・部長・委員長・副部長・副委員長（おおよそ60名程度）がライセンス取得予定である。1人月額150円程度。10ユーザー増加毎に月1200円。仮に60人使用可能となれば、年間78000円程度。ディスク容量の追加は50MB毎で月600円、初期は200MBまでである。スマホ・PCのどちらでもアクセス出来る。スケジュール管理も可能であり、様々なツールを使用できる。各部・委員会は各々メールリングリストから移行を検討していく。

3) 事務員時給について（増田会長）

報告 事務員の時給の再検討について増田会長より報告がなされた。希望があれば増額には対応していく。また、事務員1人の時給増額について報告があった。

承認 事務員1人の時給増額について報告がなされた。10月から奈良県最低賃金が837円に変更となったため、840円へ増額となることが理事全員に承認された。

4) 監査報告（門脇監事）

報告 中間監査について門脇監事より報告がなされた。会計監査は特に問題なく、終了。内容は文書作成し、次回役員会で提出する予定である。最終監査については、3月31日までに実施。財務部からの検討事項として、予算執行や総会の時期などの日程調整を行ってほしいとのこと。次回役員会で検討予定。

その他、各団体・事業への支援の見直しが必要であると指摘がなされた。理学療法士の知名度を上げるために必要な広告なのか、支援する事業は当会にとってどのような役割をしているのかを再確認が必要であるとのこと。広告料・負担金の基準などに関しては、今後検討していく。

以上